

手と手

地域教育コーディネーター
高井 美保子

～よろしくお願ひします～

巻東中学校の「地域と学校パートナーシップ事業」も14年目を迎えました。
地域教育コーディネーターの高井美保子です。
地域ボランティアと学校をつなぐパイプ役として仕事をします。地域と共に歩む学校づくりを進めるにあたり、保護者・地域の皆様のご理解とご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。

1年総合学習「田植え」を行いました（5月8日）

5月8日（水）の午後、学校田に於いてJA新潟かがやき漆山アグリセンター・潟頭農事研究会の12名の皆様からご指導いただき、1年生が「田植え」をしました。

午前中には、JA新潟かがやき漆山アグリセンターの方と農家の方が田んぼに“型”で線を引き、準備をしてくださいました。

午後からいよいよ「田植え」本番。少し寒い中、生徒たちはJA新潟かがやき漆山アグリセンターの職員の方から苗の植え方を聞き、田植えを行いました。いざ始めると集中して苗を植えていました。貴重な田植え体験ができました。

JA新潟かがやき漆山アグリセンター・潟頭農事研究会の皆様、ありがとうございました！

～型付けの様子～



「苗」を植えやすいように、「型」で線を描いていただきました。

《開始式の様子》



～植え方の説明～



苗をください。



苗は3本ずつ植えるんだよね。



裏面へ続く



ボランティアの方と一緒に、空いている所に植え残しが無いように苗を植えています。

【 生徒の声 】

- ・私は、田植えを通して色々なことを想像して考えることを学びました。深すぎず、浅すぎないように稲を植えると説明していただきました。そう植えるには自分の頭の中でイメージして植えると上手くいくのではと思ったからです。実際に植えてみると身動きが取りづらくバランスを崩しそうで焦った場面があります。ですが、横で慣れた手つきでボランティアさんたちが植えていて「凄いな！」と感心しました。また、このような機会があったらもっと上手に植えられるように頑張りたいです。
- ・田植えで感じたことは、農家の人たちの苦勞です。この田植えは、米を作るまでのごく一部の過程です。田おこしなど多くの準備をしてこられた農家さんに感謝しています。将来、このような体験の企画を考えたり、もっと農家が楽になるような機械を作りたいです。

1年総合学習「校外学習(遠足)」を行いました (5月10日)

5月10日(金)に1年生が吉田ふれあい広場までの往復を歩き、学年レクリエーションをし、生徒同士の交流を図るための校外学習(遠足)を行いました。

片道約7、5kmを歩くにあたり、信号機の無いところを横断することから、生徒の安全を確保するため、「西蒲区を歩こう会」の6名の方よりボランティアとして参加していただきました。

出発式と学校に到着してからの解散式で、ボランティアの早川様より靴の履き方、歩くときの姿勢、ストレッチなどを指導していただきました。

ボランティアの皆様のおかげで安全に活動ができました。
西蒲区を歩こう会の皆様、ありがとうございました！



「教頭先生、行ってきます！」



ありがとうございました！

【 生徒の声 】

- ・「あきらめない力」を学びました。最初は、楽に歩いていたのですが、帰りになると歩がきつくて歩けなさそうになりました。けれど、あきらめないで最後まで歩いて達成感が得られました。その達成感はとても気持ちが良かったです。